

☆高校1年 ホームルーム研修☆

4月5日から7日まで2泊3日の日程で高校1年ホームルーム研修が実施されました。高校生活の新たなスタートを切るにあたって、将来について考え、自ら歩むべき道を真剣に考える機会となりました。また、新たな級友たちとの絆を深めることができました。ホームルーム研修の生徒たちの感想を紹介します。



A組 Iさん

このHR研修は行く前に考えていたよりも、面白いものでした。そして、自分にとって、とてもためになるものでした。行く前は、クラスや班などのことも不安で、将来について考えるだけの研修なんてつまらないと思っていました。しかし、みんなで将来について考えたり、OGの先輩の話の聞いたりし、様々な刺激を受けた3日間でした。

私は今まで自分の将来の夢について考えたことは、もちろんあったし、大学は何をして、仕事は何をして、結婚して、ということも考える機会はたくさんありました。しかし、それを一連の流れとして連ねて考えたのは初めてだったと思います。35年後、20年後、10年後、自分がこうなりたい、だから5年後はこうなりたい、という風に考えたタイムマシン法を使ってのグループワークでは、本当に人それぞれの将来があって、自分自身で考えているときも、自分の夢を具体化しているうちに、自然と今が将来につながっているという実感がわきました。そして、1つ1つの時間がそれぞれの将来、自分自身の将来を変えていく分岐点になるのだと思いました。

また、休憩時間にも留学の話やOGの先輩方の話について周りの人と話したりして、グループ以外の人のお話も聞き、とても刺激を受けました。このHR研修で、たくさんの人の話を聞いて、自分で考えて、将来の具体的な見通しが少し経ちました。そして、そのためには、やはり日々言われていることではありますが、メリハリをつけた勉強、好きなことを見つけること等が大切だと思いました。

これから一年間、新たなクラスで、クラス目標であるチャレンジ精神も忘れず、また、学年目標である道を拓いて、高校一年生の一年間を過ごしていきたいと思います！！

B組 Nさん

この3日間、研修をして私が最も印象に残ったのは適学・適職診断です。私は今まで、将来何になりたいか、どんなことをしたいか、などは考えても「特にない」と思うだけで具体的な夢は全くありませんでした。そのため、中3の終わりに、この診断の問題を解いたとき、「もしかしたら、これが大きなヒントになるかもしれない！」と思い、結果がとて

も待ち遠しかったです。2日目、診断結果が渡され見てみると、職種適性の1位から3位が客室乗務員、パイロット、空港業務スタッフ、と全て空港に関係するものでした。この結果を見て、私は嬉しかったです。何の夢もなかったのも、あまり期待はしてなかったのですが、客室乗務員、といったら私の中では華やかな職業の一つでした。この結果はあくまで参考であり、本当にその職業につけるかどうかは分かりませんが、これを機に1つのことを目指すのもいいなと思いました。空港で働くにはまず英語力が必須なので、これから英語をもっと頑張ろうと思います。タイムマシン法では、自分がこれからどのように成長してどう過ごしていくのかを考えることができました。特に、印象に残ったのは、私の班で出た「5年後、20歳では東京オリンピックを応援している」というものです。自分たちは5年後には受験も終え、洗足生ではなくなってしまう…。まだ、その事実が信じられません、中3までの3年間はあっという間だったので、これからの3年間、1日1日を大切にしないではいけなと痛感しました。この研修で、私は自分の将来について深く考えることができました。これからの生活に活かしていきたいと思います。ありがとうございました。



C組 Yさん

この3日間は、人生で一番、将来と夢について考えた3日間だったと思う。OGの方の話、クラスの発表での同級生の話、ずっと遠いものであると思っていた将来や未来が、ぐっと近くなった気がする。この3日間で、好きなことは好きなことで、全力で取り組もうと思った。高校に進学したら、義務教育ではない事、大学受験が身近になる事から、勉強をガツガツやっていたかなくてはならないと思っていた。が、OGの方の話を聞いて、好きな事も全力でやっていいんだと思った。勉強とのバランスをとりつつ、好きな事にも全力で取り組みたいと思う。また、勉強、部活、趣味、すべてを全力で取り組んできたOGの方の話を聞いたことで、すべての事に、前向きに挑めるような気がする。一生に一度の高校の最初の一年間を充実したものにしたいと思う。

D組 Oさん

私は、まず、クラスが分からない、どんな友達と同じクラスになるか分からない、3日間の予定が分からない…など、ほとんど何も分からないことからスタートした研修だったので、楽しみだ、というよりも不安の方が大きかったです。しかし、実際に行ってみると、結構知っている子と同じクラスで、先生方も、少しは変わってしまったけれど、大移動、という感じではなかったので、そんなに心配する必要はなかったです。



バスで行った隣の人との自己紹介もとても楽しく、お互いのことをよく知ることができたと思います。ホテル到着後に行ったクラスHRの「ジョハリの窓」では、初めて友達となる子から、自分がどのような目で見られているのかを知ることができ、とても自分のためになる活動でした。OG講演では、私が将来なりたい職業に今、実際就いて働いている先輩の話をお聴きすることができて、先輩の失敗談、また「これをやっておいて良かった」など、全てが自分のこれから先の人生において重要なことばかりで「全てを吸収する！」という意気込みで真剣に聴いていました。2日目もたくさんのディスカッションや発表をし、また昼食を班の子と協力して作ることができたと思います。また、活き活き広場での活動はクラスの仲を深められ、とても楽しく、良い経験になりました。3日目に決めたクラス目標は、少しユーモアのある、しかし、四字熟語を使って何だか頭が良さそうなクラスに見える感じがしました。

私はこの3日間の研修を通して、これからの生活において、高校生という自覚を持ち、また、昨年、担任だった工藤先生が話していた、「克己心のある人になる」ために、これからの高校生活を精一杯努力しようと思いました。まだ3日間しか一緒に生活していないので、クラスに慣れたわけではなく、少し不安な面もあるけれど、これからまた、たくさん新しい友達を作って勉強とピアノの両立に力を注ぎたいと思いました。

これからの高校生活では、この3日間で学んだことを心に刻んで過ごしたいと思います。

E組 Aさん

今回の研修はとても濃い3日間だったと思いました。OG講演ではとても有意義な時間を過ごせたと思います。今まで、今回の研修ほど自分の将来を考えた日はなかったです。なので、これを活かしてこれからの高校生活に活かしていきたいと思いました。また、文理選択など、自分の近い将来のことも考えました。私は理系かなと思っていましたが、もう少し考えてみてもいいかなと思いました。これから頑張ります！

F組 Sさん

今回のHR研修で、私は自分の将来のことについて深く考えることができました。私は中3の研究論文の作成時から、自分が将来やりたいことについての論文を作成している友達を見て、何も決まっていなかったことに焦っていました。

しかし、1日目のOGの先輩方の話を聞いて、これからたくさん考えて、最も良いと思う方向に進めばよいということがわかりました。でも、自分が最も良いと思う方向に進むためには努力が欠かせないということもわかりました。OGの先輩方のお話の中で、「やりたくないこともやらなきゃいけない時が来る」という言葉がありました。つついやりたくないなと思って後回しにしてしまうと、それが溜まって、最後には膨大になってしまいます。だから、これからこの言葉をいつも頭において勉強だけでなく全ての事を頑張っていきたいです。そして、もう一つこのHR研修に行って良かったなと思ったことは、新しいクラスの人と仲良くなれたことです。活動班の人はもちろん、ほうとう作りで一緒だった人、バスの席が近かった人、食事の席が近かった人、それ以外にもたくさんの人と話すことができました。このHR研修のおかげで初めての帰国クラスへの不安がなくなり、これからS1Fのみんなと過ごす1年がとても楽しみになりました。これからクラス全員で取り組む行事が近くなりますが、どれも”全力闘争”で頑張りたいと思いました。この3日間、1日1日の内容がとても濃く、疲れたけれど、それ以上に楽しかったです。